

## 平成25年度9月 定例市長・市政記者懇談会の結果について

日時 平成25年9月2日（月）午後4時～4時50分

場所 市役所4階会議室

出席 市政記者クラブ10社

### 会見内容

#### 1. 話題提供（4項目）

#### 1 釧路市民貢献賞受賞者について

##### ■ 釧路市市民貢献賞 産業部門 受賞者 中島 太郎様（72歳）

中島様は、石炭産業の発展を支えてきた地元企業の経営に手腕を発揮され、永きにわたり地域の産業基盤を支えてこられるとともに、港湾荷役関係団体役員を歴任し、港湾関連産業の発展にも尽力されました。さらに、太平洋炭礦閉山後に設立された釧路コールマイン(株)において、的確な舵取りにより石炭産業の存続を図られると同時に、国際協力事業に貢献する研修炭鉱としての意義を広く普及啓発しながら、事業継続に向けて努力を続けられ、対象国からの石炭産業発展に対する貢献を高く評価されています。釧路商工会議所常議員や、釧路地方経営者協会会長など各種団体の要職を数多く担い、地域を代表する経済人として地域経済、産業の振興に多大な功績を築かれています。

##### ■ 釧路市市民貢献賞 産業社会部門 受賞者 武藤 忠様（75歳）

武藤様は、昭和40年に釧路歯科医師会へ入会以来、永きにわたり会の要職を歴任され、取りまとめ、調整役として同会の発展に貢献されるとともに、釧路市の地域歯科医療および歯科医師の医療知識の向上を目的とした勉強会を立ち上げるなど、多くの歯科医療関係者の育成にも尽力されました。また、海外から著名な歯科医を招聘し、講演会、研修会の開催に腐心されたことは、全国的な地域医療に対する取り組みの模範となりました。さらに、14年間にわたってミャンマーの歯科医師へ技術、物資支援を行い、その多大な功績を讃えられています。一方、釧路市文化賞審議会や釧路市美術館企画委員会の委員長なども歴任され、文化・芸術の振興にも貢献されています。

##### ■ 授賞式は、平成25年10月16日（水）午前10時から（釧路市議会議場）を予定しています。

#### 2 釧路市観光大使の任命について

##### ■ 釧路市観光大使は、釧路市の知名度及びイメージの向上、本市の観光振興に寄与する目的で任命するもので、今年度から実施する新たな取り組みです。

##### ■ 観光大使は、本市に愛着を持ち、当市の魅力、観光情報等を広くPRすることができる方を対象とし、釧路市、釧路観光コンベンション協会、阿寒観光協会まちづくり推進機構の三者で選考しました。

### 【釧路市観光大使】

- ・高橋七美、矢野元晴（釧路市出身・小畑友紀さん作の漫画「僕等がいた」の主人公）
- ・ヒートボイス（釧路在住のフォークデュオ。「イランカラプテ」などの楽曲を制作）

### 【任命式の予定】

- ・高橋七美、矢野元晴  
日時 9月4日（水）午後1時  
場所 市長応接室(小畑友紀さん立会)
- ・ヒートボイス  
日時 9月7日（土）午後5時30分（「いい味イキイキしくろ」オープニングセレモニーに合わせて開催）  
場所 釧路市観光国際交流センター

## 3 平成25年度釧路市防災総合訓練について

- 今年度の釧路市防災総合訓練は、9月10日（火）、東港区耐震旅客船ターミナルおよび幸町緑地をメイン会場として実施いたします。
- 今年度は、海上自衛隊のエアークッション艇2隻を使用し、音別地域で孤立している内陸の住民を救出する訓練を実施します。また、負傷者が多数発生したという想定で、救助した負傷者を効率よく搬送・応急処置し、市民ボランティアと連携を取りながら現地救護所を運営する救護活動訓練を、規模を拡大して実施します。
- 音別地域では、午前10時から音別町コミュニティセンター前広場を中心に、大規模地震を想定した避難訓練、午後1時45分からは、チノミ地区を対象に、津波避難訓練として、地域住民を高台にある「おんとぴあ」前広場に避難させる訓練を行います。

### 【平成25年度 釧路市防災総合訓練】

- ・日時 平成25年9月10日（火）  
海上訓練（釧路東港区） 10：30～11：30  
地上・海上訓練（釧路） 13：00～16：00  
地上訓練（音別） 10：00～12：00  
津波避難訓練（音別） 13：45～14：15

・ 訓練会場

海上訓練 東港区南新埠頭

地上訓練 音別町コミュニティセンター屋上

地上・海上訓練 東港区耐震旅客船ターミナル、幸町緑地

津波避難訓練 音別町チノミ地区(中音別)(避難場所「おんとぴあ」)

・ 主催 釧路市防災会議

#### 4 Let's 地場産品ショップのオープンについて

- 釧路管内の優れた地場産品を集めた地場産品ショップ「マルシェくしろ」が、和商市場内にオープンします(8月31日)。
- 本事業は、国の緊急雇用創出事業を活用し、市内にアンテナショップ(マルシェくしろ)を設置することで、釧路管内の優れた商品を発掘・PRし、地場産品の消費拡大や域内循環を活性化させることを目的としています。
- 店舗では、水産加工品、乳製品、食肉、レトルト商品、スイーツといった地場産品を、約150種類取り揃えています。今後、市内ではここだけでしか販売していない品物も取り扱う予定となっています。
- また、店舗の正面には地元カラマツを使った木の椅子や机を設置し、イートインスペースとして利用できる他、釧路管内の団体が地場産品をPRする場所、テスト販売できる場所としての活用も検討しています。

## 2. 質疑応答

(質問)

- ・ 何故漫画のキャラクターを観光大使に任命したのかお聞かせください。

(市長)

- ・ 作者の小畑友紀さんも釧路在住であり、またこの漫画は釧路を舞台とした物語であるということで、釧路のPRなど、さまざまな場面で活用できるのではないかと思ひ、決定いたしました。

(質問)

- ・ 観光大使のお二人(高橋七美と矢野元晴)には今後どのように活動してほしいと思っているのかお聞かせください。

(市長)

- ・ 小畑さんは、湖陵高校の卒業生で、同校の開校 100 周年記念の際には、観光大使のお二人が湖陵高校の制服を着ているイラストの入ったクリアファイルを作成してくださり、大変話題になりました。

十勝の方でも、十勝を舞台にした『銀の匙』という漫画が流行り、AIR DO のカップに『銀の匙』のイラストを入れたりする等、十勝のPRとして活躍しているそうです。

このようにキャラクターというものはさまざまな場面の中でPRすることができると思っています。

釧路駅で小畑友紀さんの原画展を開いたところ、全国からたくさんのファンの方が、JRに乗って、原画展を見るために釧路に足を運んだという実績もありますし、観光大使の二人に今後も期待をしております。

(質問)

- ・ 小畑さんご本人は今回の件について何かおっしゃっていましたか？

(市長)

- ・ 積極的にご協力していただいております。

(質問)

- ・ 名刺というのはどのようなものになるのか教えてください。

(観光振興室長)

- ・ 現在、図柄等については、調整中です。販売につきましては、観光名刺と同様に、観光コンベンション協会でも発売をしていきたいと思っておりますが、『僕等がいた』の著作権を持つ出版社の小学館さんと、調整中でございます。

(質問)

- ・ 名刺の販売とのことですが、名刺というのは、観光大使の二人の名前が記入されているものでしょうか？それとも、大使二人のイラストが入っているものということでしょうか？

(観光振興室長)

- ・ イラストの入った名刺の台紙を販売していくということです。

(質問)

- ・ 市の職員以外の一般市民が、自分の名前を入れて使用することはできますか？

(市長)

- できます。台紙を作って、観光協会で販売するということになる予定です。

(質問)

- 販売はいつからの予定ですか？

(観光振興室長)

- 調整中です。

(質問)

- 今までの観光大使はどなたかいらっしゃいましたか？

(市長)

- 観光大使ということでは、今回が初めての任命です。

(質問)

- 何か規則等を作って決めたのですか？

(観光振興室長)

- 要領と規定を作成しました。

(質問)

- 任命式は別日ですが、キャラクターとヒートボイスは、どちらとも初代観光大使ということでしょうか。

(市長)

- そうです。

(質問)

- 採用にあたって、報酬等はあるのでしょうか？

(市長)

- ありません。

(質問)

- (僕等がいた、の) イラストは何点使用できるのですか？

(観光振興室長)

- ・ 10点です。

(質問)

- ・ 名刺の他、どのような場面での活用する予定ですか？

(観光振興室長)

- ・ 現在のところ、名刺の活用だけが確定していますが、来年に向けて活用を考えております。

(質問)

- ・ イベント会場等で使用することを考えているということでしょうか？

(観光振興室長)

- ・ ご本人の活動の中で、釧路のPRをしてもらおうと考えております。

(質問)

- ・ キャラクターに関してはどのように考えているのですか？

(市長)

- ・ 現在、思案中でございます。

(質問)

- ・ ではキャラクターについては、名刺以外の活用は来年度からということでしょうか？

(市長)

- ・ 販売を前提にすると著作権の問題が出てきますが、その前提がなければ、その問題はクリアできます。多くのファンの方がいらっしゃいますし、さまざまな活用法で釧路のPRも兼ねて、タイミングよく進めていこうと思います。

(質問)

- ・ 著作権の話がありますが、少なくともそのような形で名刺に刷り込んでイラストを使用するということは、小学館からの許可は得ているので、販売はできるということでしょうか？市の事業として使用するという許可は得ているということですか？

(市長)

- ・ 販売許可は現在、調整中です。市の事業としての使用許可は得ています。

(質問)

- ・ 観光コンベンション協会で販売して、一般の市民のみなさんにも使用してもらうという段階までは、まだいっていないということでしょうか？

(市長)

- ・ その通りです。

(質問)

- ・ イラストの主人公を使ったプロモーションビデオの制作等の企画はありますか？

(市長)

- ・ 具体的には考えてはおりませんが、作者の小畑友紀さんからもご協力いただいていますので、街の活性化につながるように前向きに考えております。キャラクターについては、こちらが動かなければ動きませんので、さまざまな場面で活用できるように、二人の活用については今後も積極的に進めていこうと思っております。

(質問)

- ・ 小畑友紀さんの年齢はおいくつですか？

(市長)

- ・ 年齢不詳にしているとのことで、年齢に関しては公表することはできません。

(質問)

- ・ 任命式で小畑友紀さんの顔を撮影することは不可能なのでしょうか？

(市長)

- ・ はい。後ろ姿の撮影は可能です。

(質問)

- ・ 4日の任命式はどのような形で行うのでしょうか。キャラクターは何で表す予定ですか？

(観光振興室長)

- ・ 現在、二人の描かれたポスターを制作中です。

(質問)

- ・ イラスト 10 点提供ということは、名刺のために描き下ろされたイラストのことでしょうか？テーマは『僕等がいた』ということでしょうか。

(市長)

- ・ 原画展含め、今まで小畑さんが描かれた作品の中から 10 点ということです。テーマについては、その通りです。

(質問)

- ・ 観光大使というのは実在する人を採用するというイメージがあるのですが、架空の人物を採用するということは、道内でもなかなか珍しいことですか？

(観光振興室長)

- ・ 地域特有のキャラクターがいたとしても、観光大使というのは珍しいと思います。

(質問)

- ・ 十勝を舞台にした『銀の匙』という作品は、現在もまだ連載中とのことですが、『僕等がいた』は、漫画も映画も終わっています。釧路市として、どう盛り上げに使用するのでしょうか？まだ決まっていないことが多いようですが、市長の展望と、大使任命のプロセスに市長がどう関わったのか、改めて任命についてどう思われているのかお聞かせください。

(市長)

- ・ 市長特別表彰のときに、小畑さんとお会いしまして、キャラクターを地域の活性化に活用できる方法はないだろうかという趣旨のお話しをしました。それから時間が経ってしまったというのは、その通りだと思います。

原画展は私も見に行きましたが、遠方からきたファンの方が多く、そういった意味では地域活性化につながっていくのではないのかと考えました。物語が終わってしまっても、10 点のイラストを使用できるということは、もっといろいろな場面で活用できると思っています。

北海道自体が「食と観光」といわれている中で、食に関しては、生産拡大や域内循環という形で進んでおりますが、それをどう観光につなげていくかということは、ずっと釧路地域や阿寒地域の観光業界の方たちともお話をしてきました。その中で生まれたイランカラプテキャンペーン等もありますし、いろいろなものが集まって観光につながっていくのではないのかと思っております。今後もさまざまなものを活用しながら釧路の地域活性化、知名度のアップにつなげたいと考え、話し合った中で観光大使をお願いしたいということになっています。

(質問)

- ・ 市長は、観光大使の選考委員等ではないのですか？

(市長)

- ・ 違います。

(質問)

- ・ まだ決まっていないことが多く、不安を感じる点があるということについて何か感じるものはありますか？

(市長)

- ・ 小畑さんは今も釧路に住んでいますし、多くのファンの存在もありますし、最初から一気に活用するというのが、タイムリーなのだと思いますが、これからの時期等を考え、活用していこうと思います。

(質問)

- ・ 選考が行われたのであれば、選考委員もいたということですよ。少し詳しく知りたいので、両者が選ばれた理由や要綱等をもう選考に関する資料を提供してください。

(市長)

- ・ わかりました。

(質問)

- ・ 市の職員の方が名刺を使用することは決定しているのですか？

(市長)

- ・ 使用可能だということです。販売ができるようになればすぐにでも販売したいのですが…。

(質問)

- ・ 著作権の件が処理されればすぐに売り出すということでしょうか。

(市長)

- ・ そうですね。

(質問)

- ・ 職員が使用可能であっても、必ずしも使用するということが決まっていな

販売の許可もおりていない等、大使が何をするのが明確になっていませんよね？  
任命されたのはわかりますが、今後の予定が定まっていないということですよね？

(観光振興室長)

- ・ 名刺の台紙は今月中に作って、職員は使用を始めます。

(質問)

- ・ 総合防災訓練時には実際に、エルキャック（水陸両用エアクッション艇）に住民を乗せる訓練をするのですか？

(市長)

- ・ 陸上自衛隊が入り、音別へ行くという内容になっています。

(防災危機管理監)

- ・ 想定は音別となっていますが、訓練時は、星が浦海岸から動きます。  
星が浦海岸から耐震岸壁に着岸している海上自衛隊の船に収容されることになっています。

(質問)

- ・ エルキャックに運びこまれている住民の様子は撮影できますか？

(防災危機管理監)

- ・ 撮影可能です。  
西港の外側にある星が浦川の河口部から乗り込む姿を撮影できます。  
訓練のため、当日は看護学院の生徒さんに乗ってもらうことになっております。  
その様子を撮影していただけたらと考えております。